

第16回全国健康福祉祭(ねんりんピック徳島2003)

< 太極拳交流大会 > が盛況

横浜市が連覇、兵庫県準優勝、岩手県が3位に

「第16回全国健康福祉祭徳島大会」が10月18日～21日の4日間、徳島県の4市15町1村の会場で「ねんりんの渦よ輪になれ踊り出せ」をテーマとして開催された。

全国健康福祉祭(愛称：ねんりんピック)は厚生省(現在厚生労働省)の創立50周年を記念して1988年(昭和63年)から始まった高齢者を主役とした祭典である。

今年の総合開会式は10月18日、鳴門市の「徳島県鳴門総合運動公園陸上競技場」で、常陸宮ご夫妻の御臨席のもと挙行された。

全国の太極拳愛好者の代表が総合開会式でそれぞれ都道府県・政令指定都市の各競技の代表とともに入場行進を行なった。石川県選手団の旗手は、石川県武術太極拳連盟の織田倭文夫選手がつとめ、石川県旗を掲げて入場した。

< 太極拳交流大会 > は総合開会式の翌19日、厚生労働省・徳島県・(財)長寿社会開発センター、第16回全国健康福祉祭徳島大会実行委員会・小松島市・第16回全国健康福祉祭徳島大会松島市実行委員会の主催、徳島県連盟(松尾隆介会長)の主管、日本連盟の後援により小松島市立体育館で開催された。

54 都道府県・政令指定都市チーム出場

全国の愛好者代表 362 人が太極拳交流

開始式で、主管団体を代表して徳島県連盟の松尾隆介会長が開会を宣言、西川政善小松島市長から大会会長挨拶が述べられた。小松島市市議会の宮崎欽司議長が歓迎のことばを述べ、次期開催地の群馬県富岡市の今井清二郎市長が挨拶した。

川崎雅雄総審判長が競技上の諸注意を述べ、選手を代表して徳島県連盟の大井秋夫、松田芳子両選手が力強く選手宣誓を行い、引き続き競技に入った。

大会には、各都道府県・政令指定都市から推薦を受けて、44 都道府県チーム・10 政令指定都市チーム、合計 54 チーム・362 人が出場した(地元の徳島県はA、B 2 チーム)。今大会出場者のうち 70 歳以上 00 人、65 歳～69 歳 00 人、60 歳～64 歳 00 人となっている。80 歳以上の参加者は 4 人。1 チーム 6～7 人で編成された都道府県および政令指定都市の代表が小松島市に集い、それぞれおもいおもいの自選の音楽に合わせて 24 式太極拳集団演武を披露し、交流を深めた。

常陸宮ご夫妻が太極拳競技をご観覧

老人クラブ連合会がプラカード隊結成

太極拳交流大会の当日、常陸宮ご夫妻に太極拳競技を観覧いただき、会場は大いに盛り上がりを見せた。常陸宮ご夫妻は午前9時40分頃に小松島市立体育館にご到着され、選手、役員が大きな拍手で歓迎し、会場中央のロイヤルボックスで約20分間、太極拳を観覧した。日本連盟の加藤六月会長がご説

明役を担当した。常陸宮さまは加藤会長に採点基準等についてご質問されたとのことである。

大会の式典音楽は地元の小松島中学校吹奏楽部が担当し、大会を盛り上げてくれた。プラカード隊は小松島市老人クラブ連合会の有志 60 人により結成された。会場内には、物産店コーナー、健康づくりコーナー、ふれあい接待所コーナー、太極拳体操コーナー等が設けられた。小松島市の広報誌「広報こまつしま」によると、市内 11 の小学校の児童約 360 人は、太極拳交流大会に出場する選手宛に手作りの応援ハガキを作成し、応援メッセージを全国選手に郵送した。

地元・徳島県連盟の笠井亮祐(中学 3 年)・笠井裕里(小学 6 年)兄妹は太極拳演武で歓迎アトラクションを行った。兄妹ともに今年の 4 月に名古屋で開催の「第 11 回」OCジュニアカップ大会で優秀な成績を収めている。徳島県連盟の会員 112 人は表彰式を前に太極拳集団演武をフロア一っぱいに繰り広げ、この間の練習の成果を見せてくれた。徳島県連盟はじめ地元関係団体、小松島市民による真心のこもったもてなしが印象深い大会となった。

大会アトラクションとして、全日本選手権チャンピオンで第 7 回世界選手権大会日本代表でもある渡邊俊哉(太極拳)、米本二一(長拳)の両選手が妙技を披露した。

表彰式で高齢出場者の特別表彰 最高齢チーム賞は北九州チーム

競技の部の表彰に先だち、特別表彰が行なわれた。最高齢者賞(男女 1 人)として笠嶋俊男(岐阜県・77 歳)、林スエコ(石川県・79 歳)の両選手、高齢者賞として伊藤豊一(岐阜県・77 歳)、井原忠博(滋賀県・76 歳)、三宅武次(茨城県・74 歳)、高木雅子(京都市・78 歳)、細野悦子(山口・78 歳)、音道アエ(千葉県・75 歳)の 6 選手が表彰を受け、賞状と楯が大会会長の西川政善小松島市長から授与された。最高齢チーム賞(平均年齢の最も高いチーム)は岐阜県チーム(平均 69.429 歳)で、チームの一人ひとりに記念品が授与された。

優勝した横浜市チーム、準優勝の兵庫県チーム、3 位の岩手県チームに、西川政善小松島市長から表彰状とトロフィーが授与された。上位 3 チームの全選手に大会役員から賞状とメダルが授与された。横浜市は昨年初優勝を遂げ、今回 2 連覇を果たした。かつて 3 連覇を遂げた実績をもつ兵庫県は雪辱をはたせず昨年と同様に今年も準優勝となった。岩手県はこれまでで最高の成績で 3 位となった。4 位には神奈川県が入った。三重県、宮崎県、栃木県の各県チームもそれぞれ 5 位。6 位、7 位と健闘した。4 位～10 位の入賞チームには優秀賞として賞状と優秀賞メダル、その他のチームには敢闘賞のメダルが授与された。

来年の「ねんりんピック」は群馬県 富岡市で 10 月に太極拳交流大会

来年の第 17 回全国健康福祉祭は群馬県での開催となる。「ねんりんピックぐんま」<太極拳交流大会>は 10 月 17 日(日)に富岡市民体育館で行われる。閉会式で、群馬県連盟の堀米秀夫理事長(会長職務代理者)が次期大会の主管団体を代表して挨拶を述べた。最後に、大会委員長の福井美幸徳島県連盟理

事長による閉会宣言により大会の幕がおろされた。

大会のファイナルアトラクションとして、徳島県阿波踊り協会小松島支部所属の5連による「阿波踊り」の共演も繰り広げられた。「阿波踊り」により醸し出される独特の一体感で大会のフィナーレが飾られた。

群馬県連盟は来年の「ねんりんピック」太極拳交流大会に向けて、関係当局と連携して準備を進めている。この11月5日には、第17回全国健康福祉祭富岡市実行委員会主催によるプレ大会を富岡市民体育館で実施している。

(日本連盟機関誌「武術太極拳」2003年11月号・ 168より)

大会成績一覧は「[国際競技大会](#)、[全国大会成績](#)」を参照。